

第1回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和3年6月1日(火) 18:00~19:07 (所要時間=1時間7分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委員】 21人

【事務局】 8人 教育長(委嘱書交付・開会挨拶まで)
教育次長、指導参事
学務課 課長、副審議監、課長補佐、総務係長、学校教育係長

○傍聴者 4名 (男性2名、女性2名)

○議事記録(次第)

1. 開 会
2. 委嘱書交付
3. 挨拶 (教育委員会教育長)
4. 会長・副会長選出

【会 長】松原重俊委員 (砂川中学校・学校運営協議会会長)

【副会長】飛渡順二委員 (学識経験を有する者)

※ 委員から事務局案を示してもらえよう提案があり、事務局案に基づき各委員合意により選出される

5. 説明事項

- ・これまでの経過について
 - ・小中学校統合準備委員会について
 - ・小中学校統合の流れについて
 - ・検討事項及び協議予定時期について
- ※ 参考資料の添付あり

【議事の内容(要旨)】

資料の内容について、事務局より一括説明

会長 只今の説明に対し、何かご意見・ご質問はございませんか。今日は討議というよりも皆さんから意見を頂戴するような場面になるかと思えます。発言される方は挙手をお願いします。いかがでしょうか。

委員 いろいろご説明ありましたが、それぞれ確認させていただきたいと思えます。準備委員会の役割について、基本的には、教育委員会からこういうことを調査・協議してくださいということで諮問を受けて、それに対して教育委員会に報告するような役割ということでお間違いないでしょうか。

事務局 はい。教育委員会の方から検討事項を提示させていただき、それに基づいて協議をしていただきますが、もちろん協議をしていただく流れの中で、こんなことも協議をするべきだという部分が出てくれば、精査させていただいて、改めてご提案ということになろうかと思えます。

委員 先ほどの説明で、資料の2ページの部分で、統合準備委員会が教育委員会に報告した内容を教育委員会で連携します、というような話があったと思えますが、ここで報告した内容というのがそのまま決定されるぐらいまで議論を深めて、形として残して報告するということになるのでしょうか。

事務局 本会の検討・議論については、我々としてはより深いものを大変期待しているところですが、線引きする考えはございません。議論はここまでにしますということでの整理であれば、あえて注文をつけることなく、そのまま報告するとしております。そのまま決定するかどうかは、真にそれが理にかなっていると、また、委員さんの総意でもあるということであれば、おそらく特に問題なく教育委員会会議で決定するであろうと認識してございます。ただ、いろいろと予算の関係も絡んでくるかと思えますので、そういったことから市長局長との調整もあり、一概に申し上げることはなかなか難しいところがございます。いずれにしましても、こちらで頂いたご意見・考え方というのは、極力尊重する形で報告・議論いただくようにしたいと考えております。

委員 資料の2ページのところに「決定した事項を取りまとめ」という意味は、話した内容を1つのものにまとめたという意味で決定したということでしょうか。

事務局 おっしゃる通りです。誠に申し上げにくいところはございますけれども、学校の設置・統合に関しては、教育委員会会議での決定が必要ですので、こちら委員会の決定とは、権限を持ち合わせてないことから、まとめた意見の決定ということになります。

委員 小中一貫教育推進委員会というのも別の組織としてあって、そちらでもいろいろな協議をしたいと思います。検討事項及び協議予定時期というところが、統合準備委員会で話し合う部分で見ると学校生活に関する事項・スクールバスに関する事項となっている。いろいろな課題が出てきたら話し合うとは思いますが、一応この設置要綱など教育環境の整備及び教育の充実を図るために、となっているので、かなり広いこともここで話し合うという流れにもなるのでしょうか。

事務局 はい。基本的に資料の内容については、学校生活に関する事項、それとスクー

ルバスに関する事項を中心にお示しをさせていただいており、この関係について十分な検討、ご意見を頂戴したいと思っておりますが、先ほど会長からもありましたとおり、これ以外の部分で何かしら整理すべき点、例えば児童生徒の心のケアなど大変重要な部分もありますし、いろいろと案件がございますので、テーマを絞りながら、その都度皆様からご意見を拝聴させていただき協議を進めてまいりたいと考えています。

委員 中学校のPTAの代表として来させていただいていると思っておりますが、いろんな保護者の方々の意見もあると思うので、そういう部分を私が聞いたりしたら、それらを委員の皆さんにお伝えさせていただく形で協議の場に参加させていただくということでしょうか。

事務局 はい。結構でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員 資料の3ページの中学校の統合のところ、石山中学校閉校と両校が閉校というような記載になっていますが、恐らく今回の話は、石山中学校は1クラスしかない、当然見直さなければならぬということだと思いますが、砂川中学校も今後2クラスになるということで、多分同じ土俵で両校とも今後適正な形にならないということと一緒にすることだと思います。そうすると、考え方としては、両校が閉校になりますよ、新しい学校を作りますよ、統合して1つになりますよ、というようになると思うのですが、けれども、その方法として砂川中学校の校舎を使います、もしかしたら校歌もそのままということも考えられ、その辺はどうなのでしょう。

事務局 この準備委員会では、まさしくそういった内容について、皆様からご意見・考え方を拝借させていただきたいというのが趣旨でございます。おっしゃる通り、学校統合については、吸収型と対等型がございます。昔の話をしますと、砂川中学校が豊沼中学校と統合した際に、あくまでも両校閉校というような形を取っています。校名は「砂川中学校」としておりますが、校歌は新しいものにしてありますし、学校の歴史も平成7年からスタートしています。ただ、これがいいとか悪いとかということではありません。今回、石山中学校と砂川中学校が統合する際、対等的な統合をするのか、あるいは義務教育学校を見据えて、石山中学校が砂川中学校に吸収されるという意味ではなく、砂川中学校の校舎を使ったり、そのまま校歌を使うとするのか、その点も含めてこれらを準備委員会の方で皆様に是非ご意見を頂きたいと考えているところでございます。

委員 言いたいことは、石山中学校の良いところもあれば悪いところもあるし、砂川中学校も良いところもあれば悪いところもあると思うのですが、そういう意見をきちんと調査なりして、それを吸い上げて進めていくという流れになればいいということなのです。こちらの検討事項の中に、児童生徒や保護者の不安や悩みを把握するためのアンケートという項目もあるので、そういう部分でいろんな課題とか、いろんな意見を聞いていただいて、それをこの場で新たに共有するとか、そういう流れになればいいなと思っております。

加えてちょっと思うのが、このメンバーがどちらかというと、PTAの役員さんは全員男性ですし、なかなか保護者といっても、お母さん、つまり女性の意見を聞く場が少ないのかなと感じています。

先ほど部会の必要性についても説明がありましたが、ただこの部会の決まりは、

このメンバーを各部に分けるという流れだと思います。例えば、女性の制服の話をするときに、この並んでいる男性方が話をしても、多分いいアイデアはうかばないと思います。そういう時にオブザーバー的に保護者のお母さんに入ってもらうなど、そのような参加は可能なのでしょうか。

事務局 部会の設置につきましては、今ご意見がありました通りでございます。21名の委員さんがおりますので、それぞれ役割分担して協議する必要があるとなれば、何班かに分けて集中的に議論ということもあろうかと思えます。

オブザーバーの件につきましては、まず、新たな委員を加えることは、市の規定に基づいて準備委員会を設置していることから、状況的には難しいです。

このため、先ほどご意見ありました通り、一部に意見が偏ってしまうことを想定すると、オブザーバーの参加も必要ではとなりますが、これについては議論の状況を見ながら今後検討ということにさせていただきたいと思えます。

なお、事務局としては、できれば、PTAの会長さん、役員さんを中心に、保護者の皆様からそういったご意見を吸い上げていただき、この場でご報告・ご提案として申し述べていただければ大変ありがたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

副会長 副会長という立場で恐縮ですが、この資料を見て感じた点があり、これから準備委員会で検討する事項として学校生活に関する事項でありますよね。校歌を決定したりまたは校章や校旗などの話しになりますが、この部分は、前提となる統合の在り方、つまり中学校の統合の在り方によってかなり変わってくるのではないかと思います。もしも、砂川中学校と石山中学校が同時に閉校するという事になれば、新しい校歌や新しい校旗を作らなければならない。ところが石山中学校だけ校舎が閉校することになれば、現存する砂川中学校の校歌や校旗などをそのまま使用することになると思えます。今のところで、石山中学校と砂川中学校は、統合の在り方についてどこまで検討されているのか、またはどのように考えているのか、分かれば教えていただきたいのですが。

委員 砂川中学校と石山中学校の統合についてどのようになっているか、どこまで進んでいるかということですが、何もしてないという状況です。

雑談程度に話はしていますが、準備委員会のような会を開かれることもあって、その中でどのような方向性や考え方で向かっていくのかということを見たいというのが前提にあり、今のところはそこを見ての話し合いになるのかなと思っております。ただ、個人的には、最終的な義務教育学校への道筋まで考えたときに、現存の砂川中学校の校舎を使うという前提もある中で、いろいろと大きく変えていくというのは、あまり合理的ではないように思えます。この適正配置の趣旨というものを考えたときに、少しでも多くの生徒の中で、交流を持った教育というもの子どもたちの豊かな成長を促進するということを考えたら、どうしても早め早めにしてあげることが子どもたちにとって一番良い状況ではないかなと思えます。それと、前倒しで令和5年度を目指すということができれば、やはり我々はそこを目指して頑張っていくことがこの会議のあるべき姿なのかなというふうに思えます。

副会長 話し合われていないということでしたが、資料の学校生活に関する事項では、協議予定時期を7月から10月までとしており、そうすると、最初にどうするのかということをお石山中学校と砂川中学校で検討していただかなければ、学校生活に

関する事項の議論に入っていくのではないかという感じがします。

スクールバスについては、これは石山中学校がスクールバスを利用するという事なので、これは概ね問題ないと思いますが、学校生活に関する事項については、統合の在り方をどうするのかということが、まず前提としてあるのではないかと思うのですが、その辺、時期的なものを含めどうなのでしょう。

委員 統合関係の話は全然していませんが、結局時期を早めるとしたら、どういう課題があってそれをどう解決するかという論点があって、初めて早めるかどうかという議論になると思います。今この場で早める議論をしましょうと言われても、何も判断内容が無い状態ではできませんので、例えばアンケートとかを早急に取ってもらって、そういう結果をもとに、今回の統合に関しての課題を洗い出し、その解決方法を我々が話し合っ、可能な限り早く答申なり報告をすると。それをもとに教育委員会の中である程度の方針を決めて、それを保護者の方にきちんと伝えるという流れだと思います。順番的には、しっかり保護者や子どもの意見もしっかり聞くべきだと思いますので、それをまず行っていただければと思っています。

事務局 オブザーバーの話にも関連してくると思いますけれども、教育委員会としましても、今ご意見のある通りだと認識しています。統合前に卒業する生徒や保護者の方はあまり影響を受けないかもしれませんが、統合の影響を受ける、生徒や保護者には特に丁寧な対応が必要と考えており、本当はコロナ禍でなければ、集まっていたさまざまな意見を交換したいとしているところですが、まずもって検討する材料としてアンケートを取らせていただきたいと思います。

については、学校・PTAの皆さんには、ご協力を頂きたいと考えております。

また、アンケートの内容については、教育委員会が一方向的に聞きたい部分だけの設問にするのではなくて、普段思っていることを自由に記入できるようなものにしたとも考えております。

委員 例えば、制服とかジャージの話をするにしても、多分、石中の子は、毎日ジャージで通います。制服を着るのは年間4回くらいで、このことは子どもたちも喜んでいると思います。とても楽なので、制服ってあまり着たくない人もいます。一方で砂中は毎日制服で登校しています。つまり、そういう違いもあるので、互いにきちんとアンケートを通じて聞いていただければ子どもたちの考えとかも分かってくると思います。いきなり制服どうしようではなくて、子どもたちが思っていることを最優先に考えて進めていただけたらと考えております。

会長 ありがとうございます。おっしゃる通り、まず、統合の仕方によって全てが変わってくる、そのことを次からこの会議の中で話し合いをしていく形になると思います。ですから、皆さん、アンケートなどから、いろいろ出てくると思いますが、その点、ご承知おきいただいて、どういう形がいいのか議論をいただきたいと思います。ただこれはあくまでも中学校の後に小学校があるという前提で話をさせていただきたいと思います。中学校単独で終わりですよということではありません。皆さんも本当に、令和6年のことは3年後ですから、今の1年生が3年生卒業した後の小学校から入学した子が多分統合の中学校に行く形になるのではないかと思うので、そういったことなども念頭におきながら進めて欲しいと思いますし、本当にすぐの話になりますので、この準備委員会は大変なものだと認識されたと思いますが、是非いろいろ意見を出し合っ、やっていきたいと思っています。

委員 この統合準備委員会は年間何回とか、そういった予定のものは事務局の方で考えがあるのででしょうか。または、中学校だけで集まる考えとかはあるものなのでしょうか。

事務局 統合準備委員会の回数は、予定では12回としております。ただ、必要に応じてそれが13回、14回となる場合もあれば、協議がスムーズにまとまれば6回や8回などで終了となる場合も考えられます。また、6月1日の設立に加え、コロナ禍というところで、なかなかお集まりが難しいときもあるかもしれません。ですので、そういった要因から、回数を変更するかもしれませんが、いずれにしても、必要な協議・確認の方はさせていただきたいと思っており、今後とも何かとお呼び出しする機会はあるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

中学校同士の話し合いということについては、もちろん中学校同士で話し合いをされても構いませんが、教育委員会が入った中で一緒に協議をするということも状況により考えられますので、その際はご理解、ご協力いただきたく存じます。

委員 資料の4ページの統合準備委員会の検討事項で学校生活に関する事項に関しては、協議をするのは7月から10月、校名等に関しては7月から10月、制服、ジャージに関しては、7月から8月と予定ということになっており、大まかにはこの辺でという考えだと思いますが、先ほど副会長から、まず中学校の方向性の検討が進まなければなかなか難しい話になってくるのかなという発言がありました。そのことを考慮すると遅くとも10月くらいまでに、粗々でも形にしていくことが必要で、そうなれば相当なピッチで進めなければPTAもまとめきれなくなるというふうに思います。その辺りは申し訳ないのですが我々も仕事を持ちながらの時間でやっていくこととなりますので、ある程度、スケジュールなど日程の準備も含めて検討いただければと思います。

事務局 おっしゃる通り、皆さんそれぞれご都合ございますので、なるべく皆さんに負担をかけないような日程について考えていきたいと存じます。そのことから、本会が終了するごとに次の開催日程について、資料の収集・作成に要する時間等もありますが、皆さんにお諮りしたいと考えています。

委員 次回もこのメンバー全員で集まるという感じですか。

事務局 基本的には準備委員会として開催したいとしておりますので、委員皆さんにお集まりいただきたいと思います。ただ、部会としてやった方がいいとか、または中学校同士集まっただくという個別的な協議が必要であれば事務局の方に申し付けていただき、そのことを準備委員会に諮り、こういう進め方で了承するとご決定いただければ、そのようにしたいと考えております。

会長 いろいろご意見を頂いておりますが、校長先生方も参加しておりますので、なかなかPTA会長のように何でも発言できる立場ではないかもしれませんが、学校の立場として、今までの意見を踏まえて校長先生に伺いたいのですが。

委員 皆さんの意見は、今後話し合っていかなければならないことという部分が幾つも出てきているなという感じを受けながら聞かせていただきました。

学校としてという部分もありますが、ただ、事務局の方で、統合準備委員会の中で検討してもらいたい部分というのを整理されたうえで、その枠の中で有意

義な話し合いが進んでいくことが大事だろうと思います。今日については、次回その論点が協議されるということの予告だと思いながら聞いていましたが、本当に皆さんが積極的な発言があって、次からどんどん進めていかなければという認識が共有されていると感じました。ですので、この後皆さんと協力しながら進められればと思っているところです。

会長 ありがとうございます。他（他の学校長）、いかがでしょう

委員 今日が、平成30年度から適正配置に向けては様々な協議、それからコンセンサスを得ながら進めてこられたということを理解しております。

その上に立って、今後具体的にどういう形を取った統合を目指すのか、その目指す方向というのは結局子どもたちにとってどういった環境を作ることが一番望ましい統合なのかということについて、統合準備委員会の中でいろんなご意見、それから生徒や保護者の意見を吸い上げた中で、それを判断材料としながら協議をこれから進めていくというふうに私としては理解しております。

ですので、今いろいろな立場から、いろいろな視点で、いろいろな思いでそれぞれの価値観の中で話し合いがされていくと思いますが、結局ゴールは1つに、どこかで折り合いをつけながら着地点を見つけなければなりません。

そういった中でどうすることが子どもたちにとって最善なのかというような議論が、この後この準備委員会を通じながら行っていければよいのかなというふうに思っております。今日はこれからの展開をみんなで共有するというような場なのかなというふうに今時点では思っております。ですので、今後とも様々な視点からご意見いただきますようよろしくお願いいたします。

会長 はい、ありがとうございます。他、皆さん何かありますか。

委員 小中一貫教育推進委員会の関係で方針があるのであれば教えてください。推進委員会の中でいつごろ結論が出るのかによって、統合準備委員会の中で小中一貫教育として議論していくものになっていくのか、その辺が行ったり来たりするのはどうかと思っております。

事務局 この度、小中一貫教育推進委員会も設置させていただくこととしております。これは、基本計画については、学校統合に加え小中一貫教育を関連策として記述させていただいておりますので、関連性があるということで同時進行としているものでありますが、基本的には、小中一貫教育は統合とは別なもので、例えば、既存校のままで小中一貫教育を始めるということは条件を整えばできます。他市の事例でも既存校のままで全校導入しているところもあります。また、学校統合をしたからといって、小中一貫教育を導入するかしないか判断するというのは、違う話しであります。

このように、小中一貫教育については、教育課程の制度というところで、学校現場での話し合いが重要になっていきますので、小中一貫教育推進委員会については、校長先生と教頭先生により、別組織としてご議論いただきたいとしております。

なお、基本計画には義務教育学校を目指す、としてございますので、校舎の在り方やこの形態による小中一貫教育の運用、例えば義務教育学校として1年生から9年生まで一つの学校にいる場合、理科室が1つで足りるのかですとか、体育

館が1つで足りるのか、という施設設備の課題もありますので、こういった部分も、実際学校現場で働かれている校長先生・教頭先生にご意見を拝借したいというところで、準備委員会とは切り分けさせていただいているところです。

ただ、こちら準備委員会の方でも校長先生には参画いただいておりますので、それらの確認ですとか、ご質問等々あれば、お受けしながら必要に応じて議論もしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員 わかりました。小中一貫教育並びに義務教育学校としての方向性がいずれかのタイミングで出てくると思いますが、その時に準備委員会での議論の内容が食い違って、結局、義務教育学校になったから本当に一から話さなきゃいけないということにならないように是非進めていただければと思います。

委員 義務教育学校の先の話が出たので、肝心なところかなと思うのですが、この委員会は、次も行うということですが、ある程度義務教育学校の方向性が見えてこない、ここで統合だけの話をしてもなかなか方向性を見いだせないのかなと感じています。その先があるのであれば、統合後に残り3年くらいで変わってくるという流れでしたら、校歌なども方向性が決められないと思います。義務教育学校の最終形が見えてくると皆さん議論がしやすいと思いました。

事務局 今ほどのご意見はその通りです。計画については、義務教育学校を目指すというところでは既に教育委員会会議で決定をいただいておりますが、方向性は示してはいますが、それをきっちり義務教育学校に設置するという確定的なこととはしていません。ですので、今一度、教育委員会会議にお諮りをして、早期に決断することが必要と考えております。この間、いろいろと毎回会議の中で議論はいただいているのですが、ご意見ありました通り、そういった確固たる方向性がはっきりしなければなかなか議論が進まないというのは、当然のことだと思います。

この関係については今月、来月くらいまでに教育委員会会議で改めてお諮りをして検討・確認をしていきたいという流れにありますので、そのうえで皆様には、それらのご報告をさせていただき、検討・協議をいただきたいと思っております。

会長 統合準備、小中一貫教育と全てが同時スタートということでしょうか。先行するところはしていただいてこちらはこちらでやることをやっていかなければならないと思います。

小中一貫教育という別な部分もあるということもご理解いただきたいと思えますし、また、統合準備委員会という私たちの組織の中でいろいろとご意見いただきありがとうございます。

他に何かございませんか。校長先生方も立場上抜きにした、いろいろな発言をされても結構なのでお話しいただければと思うのですが大丈夫でしょうか。

なければ、次、またどんな議論になるのか楽しみにしたいと思います。

石山中学校、砂川中学校の皆様には、PTAの関係がどうなるかは、一番大きなウエイトを占めることとなりますのでアンケートを取っていただくなり、その辺の意見をできれば集約というか吸い上げて、このような意見があったというのは是非確認していただいております。その方が、私たちだけの意見ではないということになりますので、時間がないかもしれませんが、ご準備いただければと感じております。

その他、皆様から特になければ以上としてよろしいでしょうか。

それでは皆さん、次回もこのような形で進めていきますのでどうぞよろしくお

願いいたします。

次にその他であります。事務局の方からお願いします。

事務局

ありがとうございます。今回、資料をいろいろとご提供させていただきましたので、唐突感もありご意見も難しかったと思います。お時間もなかなかないかもしれませんが、お読み取りの上、次回、引き続き闊達な議論をしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、普段疑問に思うことや確認したいところがございましたら、この会議の場でなくても結構ですので、事務局の方にお問い合わせいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

ここでその他として、次回の日程についてお諮りさせていただきたいと思っております。開始時刻については18時ということでこの時間がよろしいのかなと思っておりますが、開催日としましては、次回を7月1日にさせていただきたいと考えており、この点についていかがでしょうか。

会長

7月1日は木曜日ですね。午後6時からこの場所ということですが、全員が出席というのは難しいかもしれませんが、皆さんよろしいでしょうか。何か大きな会議とかありませんか。特になければ7月1日、午後6時からこの場所で会議をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

他に何かございませんか。

なければ、本日の統合準備委員会はこれで終了とさせていただきます。

皆様、大変ありがとうございました。

以 上